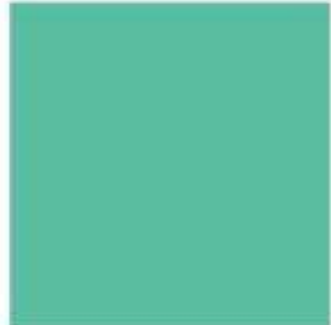


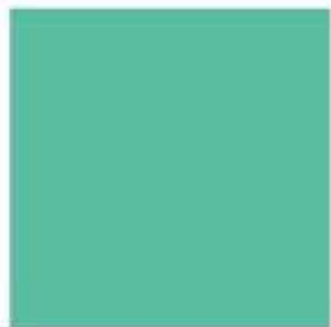


CHAdemo



2016
活動報告書

(2016年4月1日~2017年3月31日)



一般社団法人 CHAdemo 協議会

ごあいさつ



会員の皆さまには、平素から電動車両並びに急速充電器の普及推進活動へのご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当協議会は 2010 年 3 月に設立され、早いもので 8 年目の活動を迎えました。2016 年度を振り返ってみますと、質・量の双方で充電インフラが進化を遂げたと感じさせる一年でありました。

量の面では、チャデモに準拠した電動車両が 40 万台以上普及し、それに伴い充電インフラ網の整備は堅調に進み、チャデモ充電器基数は全世界で 14000 基に近づいています。

質の面では、今後の電動車両の航続距離伸張を鑑み、充電の更なる高出力化に向けた検討を進めました。今年 3 月には標準仕様書 ver.1.2 を発行し、従来の 3 倍の出力である 150kW 充電実現に向けた技術基準を確立致しました。3 月末には三重県伊勢市において、この出力レベルで実機を使用した例としては世界初となる、高出力充電デモンストレーションを実施し、メディアや国内外政府関係者をはじめとする参加者の皆様にチャデモの先進性を広く認識頂きました。

また、当協議会活動の柱の一つである CHAdeMO 仕様の標準化も順調に進捗致しました。充電規格に関しては、検定制度を充実し、さらにその信頼ある検定制度を核としたオープンプラットフォーム戦略により日米欧各国、新興国とその普及の地理的な拡大を図っております。充電インフラの導入拡大を品質・信頼性で大きく後押しする検定制度を世界に広く普及させる為、小型で安価な検定制度を開発し、販売を開始しました。本検定制度は、既にアメリカ、インドなどから受注があり、チャデモ規格や電動車両の世界的な普及加速を後押しするものと期待しています。

組織としては、昨年 6 月に当協議会活動の持続性を目的として実施した組織法人化から 1 年を迎え、会員数は増加に転じ、また政府主導の各検討部会に協議会として参画するケースも増えて参りました。これはひとえに当協議会の社会的信用が得られた証であると考えております。

今後も関係諸団体への情報発信を通じてチャデモに対する理解の促進等を図ることにより、電動車両と充電インフラの更なる発展に微力ながら努力して参りたいと思っております。会員の皆さまにおかれましては、引き続きのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会長 志賀 俊之

技術部会の活動

技術部会では、2016年度の主要活動目標のひとつとである高出力化を含む機能拡張の仕様書発行と改訂仕様書に対応する検定システムの整備を中心に3つのWGを設置し、活動を行いました。

仕様書 WG

仕様書 WG では、目標設定した高出力化ロードマップに従い、150kW 級の大電流に対応可能な機能拡張検討を前年度から引き続き実施するため、3つのSWGを設置しました。

仕様改定にあたって、市場で製品化が進む欧州会員から強い要望があった大電流化対応とマルチアウトレット充電器に関する要件規定の2つについては、早期に情報発信して会員の皆様からのフィードバックを反映することを重視しました。そのため、これまでの仕様改定では最多となる3回のコメント募集を行いました。さらに、2ndDraft 発行後、技術課題の検討状況を理解してもらうため、10月4日、10月7日の2日で欧州、北米、日本の3地域向けに時間帯を変えて仕様書説明会を実施しました。

以上の活動の結果、最終的に2017年3月24日に標準仕様書 ver.1.2として発行することができました。

診断 SWG

前年度からの技術課題のひとつであった、CHAdemoの安全設計を支える主要部品である地絡検出器の自己診断機能を規定することを目的に検討を行いました。4回にわたる審議の結果、診断回路の実施例、監視機能および車両側充電テストシーケンスとの相互干渉を回避するタイミングなど詳細な検討結果が改定案として報告されました。

保護協調 SWG

保護協調 SWG は、大電流化に伴い車両と充電器間で過電流・短絡電流に対する保護機能が適切に設計されるための検討に特化して集中審議を行う目的で設置されました。

技術的な論点としては、ヒューズによる保護と電流監視による保護が、時間軸で適切に協調できているか、車両と充電器の一方が大電流対応である他方が非対応の場合、安全上の問題が生じないかなどさまざまなケースについて検討を実施しました。

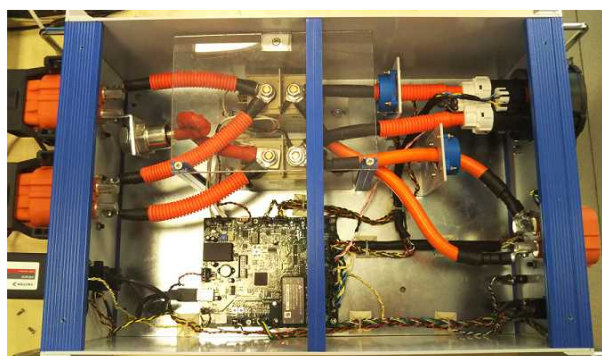
コネクタ SWG

大電流化による過温度対策で、コネクタ・ケーブルには根本的な改良が求められます。コネクタ SWG では仕様改定に対応して温度監視・温度上昇抑制機能など、新たな確認項目を追加して性能確認書 ver.1.2を作成、発行しました。

検定 WG

検定 WG は、CHAdeMO 認証試験・V2H 認証試験を円滑に運用できるように、検定機関と協議しています。2016 年度は主に下記 3 つの活動をしました。

- ✓ Ver1.1 認証試験準備を進め、2016 年 7 月に受付を開始しました。
- ✓ 従来、再認証試験としていた認証済み充電器の追加・変更に関する試験項目を定義、V2H/L 認証の分担整理などを反映した認証ガイドラインの改訂活動を行いました。
- ✓ 検定機関や各メーカーが扱える、安価かつ汎用性のある新型検定器(写真)の開発を進めました。



V2H-WG

V2H/V2L システムは、2015 年 12 月に検定基準・自己申告書を発行して以降、各社で製品開発が進行し、国内外で検定への問合せ・申込みに対応しています。2016 年度から開始したプロトコルテスターを用いた第三者検定は 2017 年 3 月に第 1 号となる製品が認証されました。2017 年度以降は、新型検定器の使用、合わせて継続して取り組んできたガイドラインの改定を予定しています。

V2H システムはエネルギー管理システム (EMS) や電力系統との連携が欠かせないことから、上位システムとの情報伝達インタフェースについても検討を行っています。CHAdeMO の標準仕様書は EVSE と車両とのインタフェースを規定し、上位システムとのインタフェースは各国・地域のニーズには柔軟に対応できるようにしています。

国内では資源エネルギー庁が開催するエネルギー・リソース・アグリゲーション・ビジネス (ERAB) 検討会にオブザーバとして当協議会も参加してきました。ERAB 検討会では需要家側のエネルギーリソース (PV、蓄電池、EV 等) を最適遠隔制御するシステム構築・インタフェース規定などが議論されてきましたが、作業会の ECHONET Lite WG で、EVPS を活用したユースケースに関して具体的な議論が行われ、V2H-WG 主査の北原氏が参加しました。

一方、IEC では充電インフラのネットワーク管理に関する標準化の活動が開始されています。今後、さまざまな規格会議体や実証プロジェクトへの参加を通じて CHAdeMO の一層の普及につなげてまいります。

また、V2H システムの製品化が先行する国内では、電力系統への連系に伴う関連法規の解釈、設定における留意事項などを検討するため、発行済みの V2H ガイ

ドラインを補完する「充放電システム設置ガイド」作成を電気設備学会に委託し、報告書を作成しました。今後、いくつかの課題について継続審議の要否を協議したうえで正式に発行する予定です。

渉外・広報活動

海外での普及活動

北米では、CHAdeMO 準拠の DC 充電規格 IEEE2030.1.1 が 2016 年 3 月に発行されたことを受け、CHAdeMO 検定との共通認証を目指すプロジェクトを立ち上げ、ステアリングコミッティのメンバーを募集しています。また、新型検定器の開発完了を受け、2017 年度から UL を拠点として現地での検定開始を計画しています。

中国では、政府機関および中国充電普及連盟（EVCIPA）と連携し、ノウハウの共有、技術課題の共同解決に向けた活動を行いました。今後も技術交流を継続する予定です。

欧州関連では、2017 年 3 月に開催された CEBIT2017 において日本とドイツの両政府は、第四次産業革命に関する日独協力の枠組みを定めた「ハノーバー宣言」に署名したと発表しました。その中には充電インフラ分野も含まれています。当協議会は、現在も日独政府の指導下で進めている日独次世代充電器規格協議に参加しており、その活動の成果と今後の方向性について考慮頂いた声明と考えます。

声明発表後の 3 月 30 日には、高出力充電デモ会に合わせて日独次世代充電論議（Joint Technical Working Group）が開催され、技術的な今後の協調の可能性を論議しました。

インド政府は、EV 普及計画の策定にあたって充電規格の国家標準および自国産業の育成につながる充電システムの検定制度の整備を検討しています。当協議会は、これまでの普及活動、検定制度の維持などの知見を活かして支援を行っています。

その他、韓国、タイをはじめとするアジア諸国でも充電規格・EV 普及施策の検討が行われており、各国に CHAdeMO の優位性をアピールする活動を行ってきました。

高出力充電テスト・デモ会開催

3 月 28 日、29 日の 2 日間で高出力対応の接続試験会を三重県伊勢市の UL Japan 本社で開催しました。テスト会には車両メーカー 5 社（日産、三菱、テスラ、いすゞ、ドイツ系 OEM）と充電器メーカー 3 社（SIGNET、DELTA、BTC Power）が参加し、最大電流 300A での接続試験を実施しました。最終的にほぼすべての組合せで正常に充電が行われることを確認しました。今後、本テストで判明した課題を取りまとめ、仕様書・検定書に反映していく予定です。

実機テストと合わせ、3月29日には関係者が参加し、新型検定器の実機デモを行いました。実際に充電器と接続し、テストを実行し電流・信号の解析動作を確認しました。

また、3月30日にはテレビ・新聞などのメディア各社を招待し高出力充電デモおよびV2H機器・新型検定器の展示説明会を行いました。メディア向けのプレゼンテーションでCHAdeMOの機能高度化、国際化の取り組みを紹介したほか、個別インタビュー、写真撮影などが行われ、多くのメディアに取り上げていただきました。



その他普及活動への貢献

日本ならびに諸外国では、地方自治体を中心とした普及活動が開かれ、多くの技術シンポジウムや展示会で電動車両や充電インフラの魅力を訴求するということが増えてきました。

経済産業省が全国の自治体と構成する EV・PHV タウン構想検討会、大阪府の大阪次世代自動車普及推進協議会、さいたま市の主催する E-KIZUNA Project では、地方の特性を活かした電動車、充電インフラの普及に貢献すべく、過去の経験から学んだことや現状報告をさせていただきました。

そのほかにも、学識経験者の先生方にご指導を頂きながら、シンポジウムや展示会にも出展や講演、登壇と言う形で協力させていただいております。

国際的な EV のシンポジウムである EVS への出展、講演を行いました。その他にも、ドイツで行われた eCarTec でも出展と同時に講演登壇し、インドの SAIIT 自動車シンポジウムや FAME のワークショップ、タイでは iEVTech 会議で講演を実施しました。国内開催では、EVTeC や EVEX での講演も 16 年度に行われた活動実績となります。

その他、APEC の自動車対話、AMEICC の EV セミナーにおいては、チャデモ協議会が日本代表団の一員としてパネルディスカッションへの参加、プレゼンテーションや意見交換を実施、アジアへの普及活動に参加しています。

整備部会の活動

2016 年度の整備部会は、12 月 9 日に開催しました。

国内では、充電インフラの面的整備が全国レベルでほぼ行き渡ったことから、高速道路や道の駅などを中心にしたサービス品質の向上と環境面でのアピールについての報告がありました。EV ユーザ向けの新サービスメニュー、保守サポートの紹介など、持続的な普及拡大とインフラの維持に関する提案も行われました。

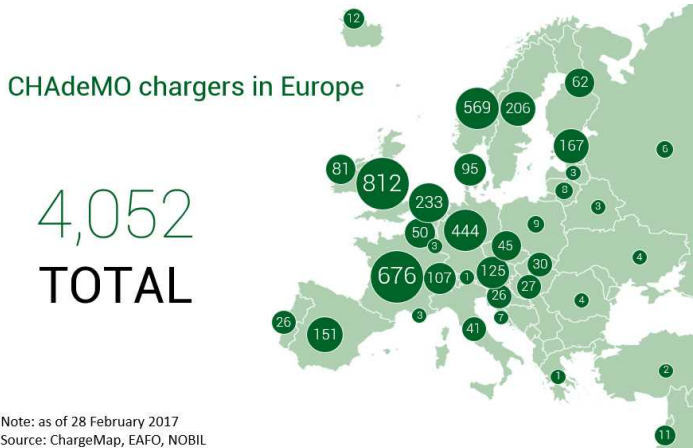
2016 年度の重点項目であった充電器の大出力化、マルチアウトレット対応は、賛助会員に皆さまからも大きな関心が寄せられたため、技術部会主査の今津氏から仕様改定の技術報告が行われました。



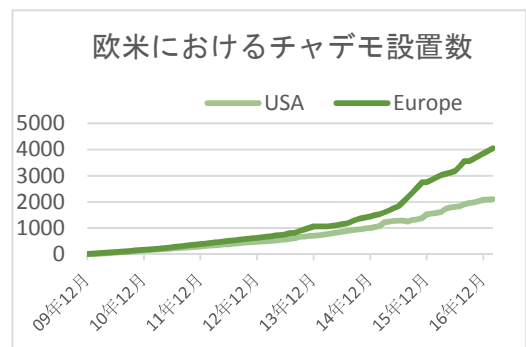
欧州事務局

急速充電器設置引き続き好調に推移

欧州地域での DC 急速充電器の設置は引き続き順調に進んでいます。チャデモ充電ポイントは、3000 基を記録した 2016 年 3 月から一年も経たない 2017 年 2 月、4000 基を超えました。

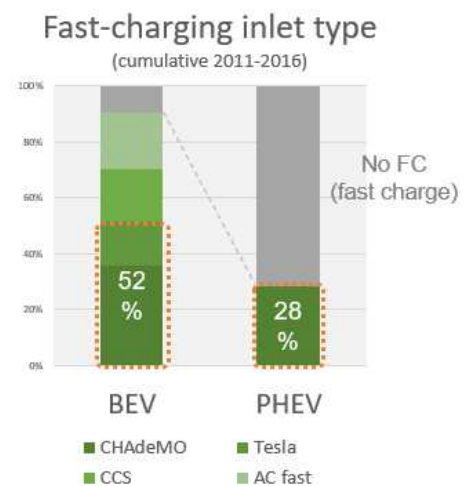
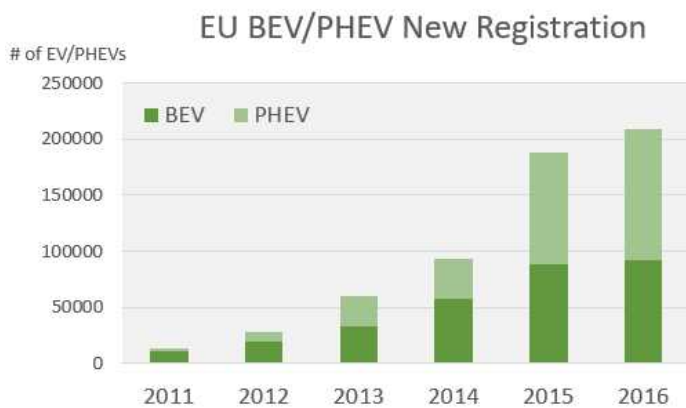


欧州市場ではチャデモとコンボ 2 の双方を兼ね備えたマルチ充電器がデファクト標準となっています。



EV 市場は減速するもチャデモは急速充電で最大シェア堅持

2016 年の欧州 EV/PHEV 市場には成長に一服感が見られた一方、チャデモは累積で欧州 EV 市場の半分以上（52%）とコンパチブル（出展: JATO）で、急速充電シェアナンバーワンを保っています。また PHEV 市場でも 2016 年末現在唯一の急速充電規格となっています。



Source: EAFO, JATO, CHAdeMO Europe analysis
Note: Passenger vehicles only.

高出力充電に注目集まる

高出力充電への注目が高まっています。150kW-350kW 充電器を設置する欧州連合の補助を受けた事業が発表され、欧州の充電事業者は、高容量バッテリーの次世代電気自動車に備えて充電設備のアップグレードに余念がありません。

チャデモ協議会では今春、伊勢市で開催した技術展示会で、実機を使った高出力充電（規格 ver1.2）のデモンストレーションに成功しました。今年後半には欧州において同様の接続試験・デモンストレーションを開催する予定です。詳細はウェブサイトやニューズレターを通じて情報発信してゆく予定です。

会員拡大に伴う情報共有機会増加の取組み

欧州における会員数はこの一年半で 20%増加するなど、引き続き安定的に伸びています。会員の皆様のご希望に沿う形で、欧州会員年次総会は 3 年連続で 10 月の eCarTec/eMove360 開催期間中にミュンヘンで行われました。

■ 欧州会員年次総会

第 7 回年次総会は、全会員を招いて、10 月 19 日に開催されました。昨年に引き続きチャデモ協議会吉田誠事務局長を迎え、チャデモの戦略やロードマップについて説明しました。その他、高出力充電器、V2X や急速充電器関連の事業報告、チャデモシミュレータ、マルチ充電器使用調査等、11 人からプレゼンテーションがありました。



■ 充電事業者向け会合

充電事業者と最新の技術ロードマップを共有する重要性に鑑み、今年は正会員だけでなく、チャデモ充電器を運営している充電器事業者を対象に、電話による「吉田事務局長との対話」セッションを設けました。

■ 北米地区会員ミーティング

EVS29 でのチャデモ共同ブースの出展に伴い、北米会員と最新情報を共有するため、モントリオールにて情報セッションを開催しました。



正会員向け技術部会ワークショップ

複数の電話会議に加え、今年は正会員向け技術部会ワークショップを2回開催しました。

- **チャデモ高出力充電技術(パリ)**

2016年4月25日、チャデモ技術部会の今津部会長を迎え、チャデモ高出力充電に関する規格のワーキングドラフトについて、半日のワークショップを開催しました。欧州各国から会員が参加し、高出力充電技術について議論を交わしました。

- **チャデモ高出力充電に関する規格最終案に関する電話会議**

10月初旬、チャデモ高出力の規格最終案について詳細に議論するため、複数の電話会議を開催しました。様々な時間帯で行うことにより、30以上の海外会員が参加しました。

- **欧州技術部会(ミュンヘン)**

10月20日、eCarTec/eMover360展示会場であるミュンヘン・メッセにおいて、欧州技術部会を開催しました。技術部会と大出力SWGの専門家による活動報告を受けて、チャデモ規格 ver1.2の重要事項について意見が交わされました。



- **車両 ID SWG 電話会議**

2017年2月13日、欧州で展開されている充電サービス事業の市場ニーズに対応するため、車両IDに関する議論を開始しました。この小部会で欧州からの提言をまとめる予定です。

チャデモ共同ブース（ハノーバー・モントリオール・ミュンヘン）

欧州事務局による共同ブースの出展も4年目となる今年は、会員企業のご要望に応え、ハノーバーメッセのMobilitec（ハノーバー）、EVS29（モントリオール）、eCarTec（ミュンヘン）の3か所での開催となりました。

■ ハノーバーメッセ 2016（ハノーバー、2016年4月）

ハノーバーメッセでのチャデモの出展は4度目になりますが、今年は会員企業六社の参画を得て、54平米のブースを出展しました。日産リーフを囲んで、22kW-25kWの準急速充電器、最新のコネクタ等、様々なチャデモ製品を展示しました。



■ EVS29（モントリオール、2016年9月）

カナダ・モントリオールで開催されたEV関連最大級の国際会議EVS29に、スピーカーおよび出展者として参加しました。日産リーフとともに充電器メーカ2社、BMSメーカ1社が製品を展示し、チャデモの高出力充電規格やV2H/V2G機能は来場者の注目の的となりました。

■ eCarTec/eMove360（ミュンヘン、2016年10月）

ポルトガル、フランス、韓国、日本からの会員企業6社とともに、64平米の共同ブースを出展しました。マルチ充電器、44kW-Wの共kWの急速充電器、V2Gといった各種のチャデモ充電器やコネクタが、30kWバッテリーの日産リーフの周りに配置されました。またこの機会に、欧州会員年次総会も開催されました。



広報・渉外活動とPR ツールの刷新

チャデモの利点をよりよく知ってもらい、EV普及を加速するため、チャデモ協議会は広報・渉外活動に積極的に取り組み、そのためのツールも強化しています。

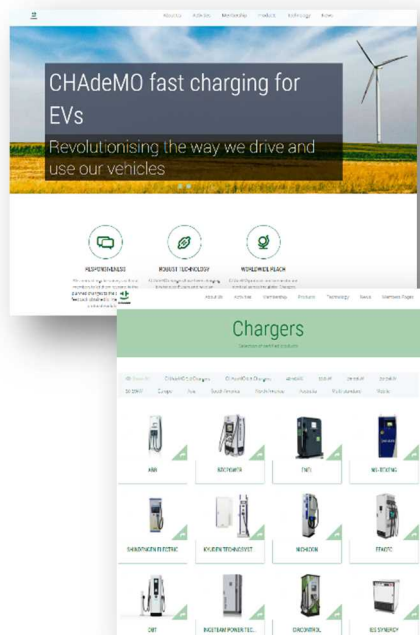
■ 会議参加・プレゼンテーション

本年もいくつかの主要なエレクトロ・モビリティイベントに参加しました。EVS29（カナダ・モントリオール）では、Fastned, Smatrics, Rapid Charge Network, Clever という欧州の4つの充電事業者から提供を受けたデータの分析による、マルチ充電器の使用状況に関する論文を発表しました。その他、Intercharge Network Conference 2016（ドイツ・ベルリン）、EV Roadmap Conference（アメリカ・ポートランド）、World Mobility Summit（ドイツ・ミュンヘン）、European Battery, Hybrid and Fuel Cell Electric Vehicle Congress（スイス・ジュネーブ）等でもプレゼンテーションを行いました。



■ 新ウェブサイトへの移行

2015年のブローシャ改訂に続き、4年目ぶりにウェブサイトを一刷新しました。新たなデザインを採用し、チャデモ認定充電器のカタログ機能を提供することで、チャデモ会員の皆様はもちろんのこと、チャデモ規格やチャデモ充電器の製品情報を求めるユーザの皆様のニーズにも的確に答えていくことがねらいです。



■ エレクトロ・モビリティ・プラットフォーム参画

2016年、欧州チャデモ事務局は、エレクトロ・モビリティ・プラットフォーム（<http://www.platformelectromobility.eu/>）のメンバーになりました。これは、様々な分野のメーカ、充電インフラの運営事業者、輸送事業者、地方自治体、市民団体等25団体による欧州のグループで、すべての輸送手段の電化促進を目的としています。

2016 年度活動サマリ

	2016年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2017年 1月	2月	3月
理事会 幹事会 総会・欧州会議	★	★	★ ★(6/1) 総会	★		★	★	★	★	★	★	★
技術部会			★(5/31) 解説書 Ver.0.0 ★(6/28)標準仕様書 Ver.1.2(Draft) ★(6/30)検定仕様書 Ver.1.1	★(7/12) プロトコルチェックシート Ver.1.1_r1 ★(7/22) Technical manual Ver.0.1		★(9/1)プロトコルチェックシート Ver.1.1_r2 ★(9/30) 標準仕様書 Ver.1.2 2nd Draft	★(10/19)欧州技術部会			★(1/31)標準仕様書 Ver.1.2FD 標準仕様書 Ver.1.2 ★(3/24) 高出力充電相互試験 ★(3/28-29)		
整備部会 位置情報共有化WG		★(4/20) Update			★(8/2) Update				★(12/9)#27	★(1/16) Update		★(3/9) Update
国際標準化												
IEC TC69/MT5 (DC充電)			★Canada		★Japan		★Germany				★Netherlands	
IEC TC69/PT63110 (スマートグリッド)											★Germany	
IEC PT61851-23-1 (自動接続)						★Sweden		★Bergium		★Germany		
充電器検定実績				★ニチコン ★ENEL					★ニチコン			三菱電機 ★
広報・渉外活動など	★(4/25-29)Hannover Messe		★(6/29) EVS29 presentation				★(10/18-20) eMove2017 @Munich			EEVC@Geneva (3/14-16)★ 高出力充電デモ&技術展示会★		

幹事会・WG 開催実績

理事会・幹事会開催実績

	開催日	主な議題
第75回幹事会	4月15日	技術部会活動報告, 2016総会議案, 法人化手続き
第76回幹事会	5月30日	技術部会活動報告, 2016総会準備, ペースメーカ干渉試験
設立時理事会	6月1日	社団法人約款承認, 理事任命
第77回幹事会	6月3日	技術部会活動報告, 法人化後の運営方針, Webサイト更新
第1回理事会	7月8日	活動報告, 組織体制案・予算案・海外渉外方針審議
第78回幹事会	7月8日	理事会審議内容詳細確認
第79回幹事会	9月9日	技術部会活動報告, IEEEプログラム, 海外渉外計画
第2回理事会	10月7日	活動報告, IEEEプログラム・北米認証計画, 検定器開発審議
第80回幹事会	11月11日	技術部会活動報告, 検定器開発計画, 補正予算案審議
第3回理事会	12月16日	技術部会活動報告, 検定器開発案・海外渉外方針審議
第81回幹事会	1月13日	技術部会活動報告, 整備部会案, 高出力デモ計画
第82回幹事会	2月17日	技術部会活動報告, 国際WG提案, 2017年度予算案
第4回理事会	3月10日	技術部会活動報告, 2017総会議案, 2017年度予算案

幹事会社: 日産, 三菱自動車, トヨタ, 富士重工, 東京電力
ホンダ, 日立, パナソニック, 吉田誠(事務局長)

仕様書WGの開催実績

	開催日	主な議題
第16回仕様書WG	6月10日	大電流化課題検討
第17回仕様書WG	7月15日	大出力・診断SWG提案審議, IEC報告
第18回仕様書WG	9月2日	大出力SWG報告, マルチ出力審議
	10月4日, 7日	ver.1.2(2nd Draft)説明会
第19回仕様書WG	10月28日	2ndドラフトコメント審議, 欧州会議報告
第20回仕様書WG	11月15日	2ndドラフトコメント審議, 保護協調(It特性検討)
第21回仕様書WG	12月21日	2ndドラフトコメント審議, 保護協調SWG報告
第22回仕様書WG	1月18日	Final Draftレビュー, コメント審議
第23回仕様書WG	3月1日	ver.1.2 Final DRAFTコメント審議

仕様書WG参加企業:

日産, 三菱自動車, トヨタ, 富士重工, ホンダ, スズキ, マツダ, いすゞ, Tesla
東光高岳, ニチコン, ハセテック, 日立IE, 高砂製作所, 日鉄住金テックスエンジ,
矢崎, 住友電工, 新電元, 菊水電子, 富士通テン, ベクタージャパン, UL Japan, TUV
Rheinland Japan, 現代自動車, 東京電力(主査・幹事)

診断SWGの開催実績

	開催日	主な議題
第4回SWG	7月13日	自己診断回路提案・コメント審議

保護協調SWG参加企業:

日産(主査), 三菱自動車, トヨタ, ホンダ, 東光高岳, 新電元, ニチコン, ハセテック, 東京電力(幹事)

大出力化SWGの開催実績

	開催日	主な議題
第10回大出力SWG	4月5日	FY16計画立案, 大電流化仕様, 高電圧化構想
第11回大出力SWG	4月21日	大電流化充電制御, 通信仕様検討
第12回大出力SWG	5月23日	欧州チャデモ報告, CCS活動, 通信仕様検討
第13回大出力SWG	6月29日	大電流化仕様, コネクタ温度監視, 高出力デモ構想
第14回大出力SWG	7月26日	大電流化仕様, IEC規格整合
第15回大出力SWG	9月1日	大電流化仕様, IEC規格整合
第16回大出力SWG	11月21日	大電流化仕様, 工程案審議
第17回大出力SWG	12月5日	試験仕様審議, 高電圧化スコープ
第18回大出力SWG	1月19日	高電圧化対応課題, コネクタ規格検討
第19回大出力SWG	2月14日	高電圧化対応課題, IEC規格状況
第20回大出力SWG	3月17日	高電圧化対応課題, IEC規格状況

大出力SWG参加企業:

三菱自動車, トヨタ, ホンダ, いすゞ, 矢崎, フジクラ, 住友電気工業, 日本航空電子, 新電元, 日鉄住金テックスエンジ, ニチコン, UL Japan, TUV Rheinland Japan, 東京電力, 日産(主査・幹事)

保護協調SWGの開催実績

	開催日	主な議題
第1回SWG	12月7日	主査決定, 微短絡・ヒューズとハーネスのIt特性検討
第2回SWG	12月16日	ヒューズとハーネスのIt特性検討
第3回SWG	1月12日	充電器・車両のヒューズ協調の整理, 仕様書案

保護協調SWG参加企業:

日産(主査), トヨタ, ホンダ, いすゞ, 矢崎, 住友電気工業, 東光高岳, 新電元, ニチコン, 東京電力(幹事)

コネクタSWGの開催実績

	開催日	主な議題
メール審議	3月27日	1.2用性能確認書(最終)
メール審議	7月21日	1.2用性能確認書(修正案)

コネクタSWG参加企業:

矢崎(主査), フジクラ, 住友電気工業, 日本航空電子, 大電, 日立電線, 古河電気工業, 東京電力(幹事)

検定WGの開催実績

	開催日	主な議題
第9回検定WG	4月21日	16年計画共有・1.1検定書類見直し・検定器改修計画
第10回検定WG	5月26日	1.1検定立上げ日程・ガイドライン・1.1検定書類見直し
第11回検定WG	6月21日	ガイドライン・1.1検定書類見直し, チェックシート
第12回検定WG	11月17日	検定機関要件, 次期型検定器, 条件緩和
第13回検定WG	12月26日	検定手続きフロー, 検定書類見直し
第14回検定WG	2月16日	ガイドライン見直し, 検定器開発, 車両認証

検定WG参加企業:

三菱自動車, UL Japan, TUV Rheinland Japan, IDIADA, JET, 東京電力, 日産(主査・幹事)

V2H-WGの開催実績

	開催日	主な議題
第40回WG	7月15日	V2Hガイドライン・検定基準改訂審議

V2H-WG参加企業:

三菱自動車, トヨタ, ホンダ, デンソー, パナソニック, シャープ,
日立IEシステム, 三菱電機, 高砂, ニチコン
矢崎, 住友電工, 椿本チエイン, 東京電力, 日産(主査・幹事)

欧州幹事会の開催実績

	開催日	主な議題
	3月31日	PR戦略、春のイベント
	5月24日	大出力化PR, 新ブローシャ
	6月28日	大出力化PR, ウェブサイト更新, EVS報告
	9月19日	ウェブサイト更新, 大出力化接続試験、秋のイベント
	10月18日	大出力化, 会員総会
	12月12日	PR戦略, ウェブサイト, 2017年イベント
	2月22日	幹事会員, 欧州指令, 大出力接続試験、春イベント

幹事会社: ABB, ESBeCars, Idiada, 三菱自動車, 日産
オブザーバ: Enel/Endesa, PSA

欧州技術WGの開催実績

	開催日	主な議題
	4月7日	大出力化(テレカン)
	4月25日	大出力化(パリ)
	10月13日	1.2ドラフト(テレカン)
	10月20日	大出力化, ロードマップ(ミュンヘン)
	2月13日	車両ID SWG

欧州技術部会参加企業:

ABB, Applus IDIADA, Bitron, BTC Power, Circontrol, comemso, Ecotricity,
Enel/Endesa, Efacec, ESBeCars, EVTEC, Fujikura Europe, IES Synergy, Ingeteam,
ITE, JAE Europe, Mahindra Reva Electric Vehicles, Mitsubishi Motor R&D Europe,
Mitsubishi Motors Corporation, Nissan, PSA, Recargo, Technische Hochschule
Deggendorf, Tesla, Tritium, Sumitomo, Valeo, Vedecom